

# 2022 明治安田生命 J3 リーグ 第 21 節 vs. 藤枝 MYFC

9/14 (水) 19:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

# 岐大通 2022

## 2022 J3 順位表 第24節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: \*印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	54p	+36	51	15	H●
2	鹿児島	50p	+19	42	23	HO
3	松本	50p	+14	33	19	H●
4	富山	45p	+6	35	29	AO
2*5	藤枝	42p	+16	39	23	A●
6	愛媛	41p	+9	38	29	HO AΔ
7	今治	41p	+9	36	27	H● A●
8	長野	40p	+3	27	24	AΔ HΔ
1*9	岐阜	32p	+1	34	33	---
10	福島	31p	0	28	28	AO
11	宮崎	26p	-7	24	31	AO
12	北九州	26p	-8	23	31	A●
13	鳥取	25p	-9	34	43	HO A●
1*14	沼津	24p	-10	21	31	A●
15	相模原	23p	-7	26	33	HO
16	讃岐	19p	-13	19	32	A● HO
17	八戸	19p	-22	17	39	HΔ
18	YS横浜	14p	-37	16	53	AΔ HO

## 次回HomeGame

第27節 vs. 福島ユナイテッド

10/2 (土) 14:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

## 大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつ一杯

煮込み珍道中

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約 10分

★

アミカ

ドミ  
ン

JR  
岐阜駅

## today's guest : 藤枝MYFC

2021 J3 8勝 8分12敗 勝ち点32:10位

※前半22分

岐阜0-1藤枝から再開

### 直近の対決と結果

2022/05/04  
J3 - 8節@藤枝サ

藤枝 4-3 岐阜

藤岡浩介x3 scored.

### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	藤枝MYFC
2022/09/10 J3 - 24節@長良川 岐阜 1-1 長野	2022/09/10 J3 - 24節@藤枝サ 藤枝 2-0 八戸
2022/09/03 J3 - 23節@長良川 岐阜 3-0 YS横浜	2022/09/04 J3 - 23節@ピカスタ 讃岐 1-1 藤枝
2022/08/27 J3 - 22節@ニンスタ 愛媛 1-1 岐阜	2022/08/27 J3 - 22節@藤枝サ 藤枝 0-3 いわき

●ホーム3連戦の2戦目、9/10 (土) 第24節・長野戦。FC岐阜は試合開始から攻勢に出るが、精度を欠いて先制点を奪えない。すると後半83分に、逆に先制点を奪われてしまう。残り時間も少なく、窮地に陥る岐阜だったが、後半90分にPKを獲得。これを#38 藤岡浩介が冷静に決めて、同点に。そのまま試合は終了し、1-1。勝点1を分け合った。

勝点で並んでいた10位・福島が松本に負けたため、FC岐阜は9位をキープ、勝点差1をつけることができた。だが上位3チーム陣はすべて勝利し、その勝点差は、首位・いわきと22、2位・鹿児島と18に広がった。また、前節で愛媛が勝利し、長野が8位に後退したが、岐阜との勝点差は8。つまり直近上位との勝点差も広がった。FC岐阜の今シーズン残り試合は、今節を含めて11試合、ホーム戦は6試合。そして順位は中位に留まっている。しかし、とにかくホーム戦では勝利すること、そのために最後まで全力を尽くして戦い抜くことは、全てのJリーグクラブに求められているはずだ。現在のJ3は、J3優勝・J2昇格争いを繰り広げる勝点50を超えた3チーム、それに一步遅れて富山、追走する勝点40台の第3集団4チームが、上位グループを構成している。FC岐阜は、まずは8位に少しでも勝点で近づくことが目標だし、そうでなくても勝利が必要だ。今節は水曜ナイター、平日にも関わらずスタジアムに駆けつけて、岐阜の勝利を信じて声援を送る、FC岐阜サポーターのためにも、しっかりと結果を出して欲しい。

さて、今節の対戦相手は藤枝MYFC。8/20 (土) 第21節・ホーム戦が、雷雨の影響で中止となった試合が再開される。したがって、今節は前半22分から、そして前半11分に#26 横山暁之に先制点を決められ、0-1での再開だ。当然、中止された試合と同じメンバーで、怪我等の理由以外では、メンバー変更はできない。だが、選手の調子など様々な要因によって、チームは生き物のように変化するものだ。3週間以上前の、そして3試合を戦った上で、元のメンバーに戻しての再試合は、非常に難しいと言えるだろう。だが、逆に考えれば、お互いに相手のメンバーと8/20当時の戦略が分かっているのだから、この後、どんな戦略に変更・修正するのか、しっかり検討する時間があっても言える。例えば岐阜では、直近3試合は4バックだが、この試合では3バックだったのを、どうするのか。ベンチにいた#4 橋本和が負傷したため、代わりに誰を入れるのか。そういった、監督の采配やスタッフの努力など、選手以外の部分での戦いが、勝敗を制する試合になるかもしれない。なお、藤枝の順位は、中止前の時点では3位。その後は1勝1分1敗。順位は5位に後退しているが、藤枝は消化試合が2試合少ない(今節の岐阜戦と、台風で中止となった8/13 (土) 第20節・アウェイ沼津戦。9/21 (水) に代替開催が決定)。もしも2試合とも勝てれば、勝点48となり、再び上位3チームに肉迫することとなる。相当に強い気持ちを持って、この長良川に再び乗り込んできただろう。様々な意味で、難しい試合になるのは間違いない。

藤枝で最も警戒すべき選手には、先述した#26 横山暁之を挙げる。岐阜戦の直前3試合でベンチ外になっていたが、この試合でスタメンに復帰すると先制弾。その後も1得点を挙げて通算9ゴール(岐阜戦を含む)。そして、その先制弾をアシストした#24 久保藤次郎は現在8ゴール。7月期の月間MVPにも選ばれた選手と、対峙する#7 村田透馬とのマッチアップにも注目したい。また、13年から岐阜に4年間在籍した#18 水野泰輔はアシスト直前のスルーパスを決めて存在感を放ったし、09年から岐阜に期限付移籍で在籍し3シーズン19ゴールを挙げた#10 押谷祐樹がベンチで控えている。精度の高い左足を武器とする#7 鈴木惇が中盤に控え、この夏に沼津から移籍した#38 渡邊りょうが1トップと、要注意選手ばかりだ。藤枝との通算対戦成績は、岐阜の2勝1分2敗・9得点9失点。昨年のホーム最終戦・11/28 (日) 第29節では、お互いに決定機を決められずにスコアレスドロー。そして前回対戦の5/4 (水) アウェイ第8節は、後半だけで7点の奪い合い。岐阜は#38 藤岡浩介のハットトリックで追いついたものの、ATに4点目を決められて3-4で敗戦。3連敗を喫した岐阜は、三浦監督が退任する結果となった。今度こそは、最後まで集中を切らさずに、逆転して勝利を手にした。今節も“声出し応援適用試合”となるが、僕らFC岐阜サポーターは、声出しをする者もしない者も、ガイドラインを忠実に守った上で応援を繰り広げよう。そして声を出せなくても、拍手やタオマフを回すことで、スタジアムを盛り上げよう。そして、試合終了後には、平日の夜を“万歳四唱”で響かせ、非日常の歓喜を味わおう。(ささたく)

投稿募集!! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第24節】岐阜 1-1 長野

●いろいろと評価の分かれる難しいゲームだったと思うが、個人的には負けなくて良かったかな。

この試合、岐阜の選手、プレーよりも気になったのは、長野が自陣ゴール前の低い位置からのビルドアップを繰り返していたこと。岐阜の選手が奪いに来てもそれを続けていたところを見ると、もしかすると長野はもう来季を見越してのチーム作り、戦術作りを始めているのではなからうかと（これに関して、今年の長野は一貫してこの形でやっているのご指摘を頂きました）。

つまり、長野は岐阜を相手に「実験」を行っていて、岐阜はその実験台にされたのではないのかな。アウェイゲームなのでそれを行いやすかったというのもあるし、万が一上手くいかなかったとしても出た課題をフィードバックして、次のゲームに臨めると。それでセットプレーからのワンチャンスで先制し、そのまま0-1で押し切っていたとしたら、長野としては最高のゲームプランだったことだろう。

で、PKで追いつかれてからの長野は、末脚を貯めていて4コーナーでムチ入れて一気に駆けてくる競走馬のようだった。

岐阜に関しては……やっぱりゲームに入れていない、チャンスを潰してしまう選手がいたなあと。あと宇賀神のファウル、あれは直前のプレーでファウル取ってもらえなくての報復と受け取られて一発レッドでもおかしくなかった（タックルもやや後ろからで危険さでもあったし）。

来週は八戸…の前に、藤枝との再開試合が。試合途中からのやりにくさという部分はあるだろうが、勝ち点を積み重ねていきたい。（岐阜の誇り）

●最近ちょっと涼しくなってきたかなあ……って思ってたんですが、試合前のスタジアムは再び猛暑。ただ、試合開始までには少し気温が下がってくれて一安心。

さて、試合開始……おおっと、序盤から岐阜が前からプレスかけて攻めてる！？これは、前節のYS横浜戦で試合序盤に2点を奪い、試合展開が楽になった経験からかしら？だとしたら、シーズン序盤から、そういう戦い方してくれれば、もっとシーズンが楽になってたと思うんですが……（苦笑&溜息）。

ともあれ、#8窪田稜と#7村田透馬、左右のサイドアタッカーを軸にして、運動量も豊富（当クラブ比）に長野のゴール前に迫る。だけど……やっぱり、最後のところでズレるといふか、精度に欠けるといふか。シュートを撃てば良い（と、僕は少なくとも思う）場面でパスを選択したり、タイミングが遅れたり。確かに、#17藤谷匠の2回のセットプレーは惜しかった。どちらかでも入っていれば……。うーん、これまでも、バーやオフサイドで3点ぐらい損してないですか？（苦笑）あと、どうしても気になってしまうのが、涼しくなってきたはずなのに動きが鈍い（遅い）といふか、試合に集中できていないように見えてしまう選手が……。溜息。いわきレベルとは言いませんが、もう少しフィジカルを鍛えないと、やっぱりダメだよねえ？そんな感じで、攻めながら惜しいシーンもありながら、無得点で前半終了。

さあ、こうなると後半は、ウチが点を奪えるか、それともその前に足が止まって長野に逆襲されるか……で、#42柏木陽介がピッチを去るまでは良かったと思う。問題は、彼が交替した後。もちろん他の選手も足が止まり始めていたけれど、急にチームのパフォーマンスが落ちたように見えた。それを見越してか、長野は直後に選手交替して攻勢を強め、そしてセットプレーで先制点、しかもチームに加入したばかり、そして交替で入ったばかりの選手に……。溜息。やっぱり今季の岐阜は“柏木陽介のチーム”で、彼が負傷でベンチ外だった時に3連敗したように、ピッチにいないとダメなのかなあ……と思ってたら、なんと、今度はウチがPK獲得！長野の選手たちが大勢で、凄い勢いで主審に抗議してたから『あー、まだ昇格の望みが残ってるから、これで勝点3と1では天と地ほどの差だもんなあ……』って僕は思ってたんですが……い

ろいろと申し訳ございませんでした（苦笑）。ただ、あえて言わせていただければ“これもサッカー”です。その前も、かなり笛には？？？な場面があったんですが、まあJ3だしねえ……。#30宇賀神友弥のイエローも、その前にウチのファウルで笛が吹かれるべきだったと思うけれど、ちょっとヤバかった……。汗）。

大騒動が収まって、その後は#38藤岡浩介が冷静にゴール隅に沈めて同点。その後は、両チームとも決勝点を奪うべく攻めるけれど、決定力に欠けて1-1。まあ、助かったのはウチの方ですよ（苦笑）。ホームで勝てなかったのは残念だけど、まあ盛り上がりましたし。そーいや、アウェイでの対戦でも、ATに同点に持ち込んだんだっけ。そりゃシュタルフ監督も警告もらっちゃうよねえ……。苦笑）。

この試合、長野サポーターも多かった。僕は、近隣の土曜ナイター、しかも昇格の望みが残ってるからだと思ってたんだけど、長野はまだホームで声出し応援解禁できてないんですね……。そりゃ来るわ。まだまだコロナ感染に注意しなくちゃいけないご時世ですが、もっと多くのスタジアムが、声援と歓声に包まれる日々が一刻も早く戻ってくることを願います。（ささたく）

●心配された天候も、キックオフの頃には中秋の名月が煌々と輝くような空模様。土曜日のナイト・ゲームということもあり、長野サポも多数来場していただいた。おかげで、両チーム・サポの、声量も気持ちもこもった応援を終了まで堪能することが出来ました。ありがとうございます！お疲れ様でした。選手の個人チャントもイイ出来なんじゃないかな。声出し不可のゲームもあるけど、出来るだけたくさん、現地で聴きたいよ。

内容的には、双方とも絶好機を決めきれない場面がいくつかあり、ドローは妥当、といったところか？ただ、PKの分、ウチに運があった。正直、長野には不運な判定だったと思う。自分はメインのアウェイ寄りにいたので、アノ場面はいったい、何が起こったのか、まったく不明。逆に言えば、遠目にもハッキリとわかるような、あからさまなハンドではなかった……。ということかな？とにかく、ホームで負けなかったのはよかった。ただねえ……。なんというかさ、あえて言えば、だ。「アレは決めとこ？あーいっついのを決めないよ、どンドンチャンスが減っちゃうよ？」と。わかってるよね？>チャーリー。さて、いよいよ、アウェイ東北2連戦。天気が心配だけど、現地で出来る限りの後押しをしてくる所存。アツイ試合を期待してます！（ぐん、）

●試合前に長野の関係者さんが「今季初（つまり世の中コロナ・モードになって初）の『声出し』です」と仰っていた。北信越リーグ時代からずっと続く、CKでの「ごっごっ、ごっごーる長野！」が聴けるのは素直に嬉しい。もちろん、長野のCKは岐阜のピンチなのだから聴く回数は少ない方がありがたいのだが（苦笑）。

いまのチャーリーのスタメン起用はOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）にしかなれないんだけど……。これだけ『チャンスの終点』ぶりを見せられてしまうとね。いや、それはそれで構わないよ、来季は彼に攻撃の中心を託すつもりで育成モードに入ったのなら。でも、ならばそれはアウェー・ゲームでやってくれ。「ホームの客はFC岐阜にカネを払っている」ということを忘れてはいけない。もちろん、自軍の選手が成長してくれば嬉しいけれど、だからといって育成の過程を覗くためにカネを払って来ているわけではない（もちろん、そういう人がいる可能性は承知してます）。

試合は、もし今季の長野が勝ち点1の差でJ2昇格を逃したらカチコミが入るんじゃないか（比喻）というPKの判定をいただいて、なんとかドローに。長野にはバッド・ラックでした。帰りがけの長野サポさん、すっげえ不機嫌だったもんな……。気持ちしか理解してあげられないけど気持ちは理解します。こちらとしましても、あの主審さんとはしばらくお会いしたくないです。（吉田铸造）